

# 研修レポート

議会広報編

10/10

全国町村議会議長会広報研修会 場所：東京都シェーンバツハ・サボー

## 「読み手に伝わる文章の書き方」

デザインの手でもっと伝わる議会広報誌に、また読み手目線で考えるためのポイントについて研修しました。住民が興味を持つきっかけとなるキーワードを選び自分達の言葉でなく読み手の言葉を意識する事が大事です。そして文字に個性をもたせる手段、文字の量、組み方、配置等が重要です。また、レイアウトの基本原則については、重要度にあわせてメリハリをつけ、要素をそろえて透明な線を描く事が大事です。強弱、整列、近接、反復、議会だよりの基本原則など本当に大事な研修となりました。（蜂巢 實）



11/14

群馬県町村議長会広報研修会 場所：群馬県市町村会館

## 「議会だよりの役割について」



研修内容は、住民に読まれ支持される広報紙づくり、そのためには、議会広報の位置づけや、紙媒体の特性を生かし、求められる内容構成とし定例会の最大の焦点、広報独自企画、調査、研究、意見交換等です。議会広報に求められるのは、地域課題を共有して定例会以外の情報も充実させ、住民参加の多様な機会と共感できる広報紙作りを目指すことであり、意義ある研修となりました。

（蜂巢 實）

# 11月誕生会

## 総務産業建設常任委員会編

11/8

ふるさと納税の視察研修 場所：青森県鶴田町

### 「青森県鶴田町の観光事業と ふるさと納税の実施状況について」

本委員会において青森県鶴田町を訪問し、観光事業の取り組みやふるさと納税の状況について視察研修しました。

今回ふるさと納税の取り組みを視察した中で、「鶴の舞橋」が話題となりました。

「鶴の舞橋」は、鶴田町の観光のシンボルであり、全長300mの日本一長い木橋が平成28年JR東日本「大人の休日倶楽部」のポスターやCMで取り上げられて以来、全国的な観光スポットになっています。観光客の増加により、ふるさと納税も年々増加し、鶴の舞橋の修繕費として基金を積み立てているとの事です。

観光事業による相乗効果という点で、大変意義のある研修となりました。（善養寺孝）



ふるさと納税を活用する「鶴の舞橋」

## 文教厚生編

11/19

渋川市南部学校給食共同調理場視察 場所：渋川市行幸田

### 「オール電化厨房、快適な作業環境と衛生管理の向上を実現」



渋川市行幸田にある渋川市南部学校給食共同調理場を視察しました。建設費15億円、対応食数3千食、5つの小学校、2つの中学校へ1時間以内に届けます。

オール電化厨房、魚肉下処理室、揚げ物焼き調理室を機器で区別。高度な衛生区分をしている様子を視察、調理場には見学通路や研修室が併設され、調理風景見学、食育授業の開催ができます。

委員からは、アレルギー対処、残飯の肥料などへの利用など質問が出されました。

（川田敏彦）

10/26

群馬県町村議会 議員研修会 場所：吉岡町文化センターホール

## 「町村議会議員の議員報酬等のあり方について」

山梨学院大学大学院研究科長・法学部教授 江藤 俊昭 氏

議員のなり手不足が問題視される中、国政や地方を問わず政治・行政への不信の蔓延と少子高齢化や人口減少といった課題が山積しています。議会は、解決が困難な課題に直面し責任はますます重くなり、閉鎖的で議論もなく追認機関化している従来の議会では対応できません。

議決責任を自覚し、新たな課題の解決に果敢に挑戦するために、新たな議会を創り出す。そのための条件として報酬等を整備する必要を住民と議論するという内容でしたが参考になりました。（杉井保夫）



## 「真の地方創生と地方議員の役割」

早稲田大学公共経営大学院教授・元総務大臣 片山善博 氏

人口減少と地域の将来を考え、後継者である若者に魅力ある雇用がなければいけない。それには生産性の高いもの、生産性エネルギーをコツコツとつっていくことが重要だと感じました。

また、真に「住民に開かれた議会」とは、議会が住民の広場になるように、住民を交えてじっくり考えていくことも必要なことだと感じました。

（杉井保夫）



11/6

北群馬郡町村議会議長会 議員研修会 場所：榛東村会議室

## 「コンプライアンスとハラスメント」

日本経営協会専任講師(元)国分寺市副市長 樋口 満雄 氏

ハラスメントの一般的な定義をはじめ、違法性、ハラスメントの防止など実体験から紹介してくれました。特にセクハラ・パワハラ等が社会問題になっている現在、被害者の人生に大きな影響を与えるということを鑑み、立場を超え全員で・本気で・継続して健全な職場環境をつくっていく必要があることを再認識させられました。（杉井保夫）



## 「町村議会のあり方に関する 研究会報告書について」

山梨学院大学教授 江藤 俊昭 氏

町村議会をめぐる動向、なり手不足問題を考え、魅力ある信頼される議会となるためにはと講話を受けました。特に、議会改革は、町村議会が突破口となり改革し、議員のなり手不足問題は、要因(ならない、なれない)の打開策等を真剣に考えていかなければならないことを学びました。

（杉井保夫）



## 群馬県町村議会議長会東京研修

11/20

### 群馬県関係国会議員と町村議長との意見交換

群馬県町村議会議長会より平成30年度重点要望書を提出

10月22日開催の群馬県町村議会議長会理事会で決定した「群馬大学医学部附属病院に係る特定機能病院の早期承認に関する要望」等10項目の重点要望事項を本県関係国会議員の皆様に直接提出し、実現が図られるよう要望しました。

11/21  
午前

### 研修会 『地方議会の自治』を侵害する 総務省研究会報告書について

神奈川大学法学部教授 幸田 雅治 氏

高知県大川村が議員のなり手不足を背景に町村総会の設置に関して調査、研究を進める考えを示したことを受け、国が「町村議会のあり方に関する研究会」を設置しました。その報告書で示された不可分パッケージである2つの議会のあり方について様々な意見から問題点を指摘いただきました。また、「2040構想」についても議会と関係があると説明いただきました。現在、議会改革を進めてきたのは小規模地方議会であります。そのような先駆議会の取り組みが十分に活かされた報告書ではなく、あり方については更なる議論が必要だと思いました。



11/21  
午後

### 第62回町村議会議長全国大会 場所：NHK ホール 地方創生の実現を目指して

安倍晋三内閣総理大臣のほか多数の国会議員の皆様をお招きした第62回町村議会議長全国大会が開催され、出席しました。

はじめに平成31年度の国の予算編成対策として、「東日本大震災、熊本地震及び豪雨災害からの復旧・復興と大規模災害対策の確立」など地区要望9件を含む要望34件、「議会の機能強化及び議員のなり手確保に関する重点要望」7点を満場一致で決定しました。採択された要望事項を踏まえ、町村議会の総意を結集し、当面する重要問題の解決を図るための決議及び緊急かつ重要な課題として解決を図る必要がある5つの案件についての特別決議を満場一致で決定しました。最後に決定した要望、決議、特別決議の実現に向け「ガンバロー」を三唱し終了しました。

大会終了後、特別講演として、ジャーナリスト・手嶋龍一氏に「激動の21世紀をどう生き抜くか～中・ロ・朝鮮半島情勢と日米同盟～」のご講演をいただきました。

大会終了後、特別講演として、ジャーナリスト・手嶋龍一氏に「激動の21世紀をどう生き抜くか～中・ロ・朝鮮半島情勢と日米同盟～」のご講演をいただきました。

